

みどりの大使 が行く!

長崎凱旋

みなさん、こんにちは。永田愛実です。



先日、私の出身である長崎県の平田研知事を表敬訪問したほか、長崎市の浜町アーケードでの「みどりの募金」の街頭呼びかけを行いました。

私は高校時代にNC

C(長崎文化放送)夏の高校野球イメージガールを務め、また平和活動にも取り組んでいました。大学進学のために上京してからも、長崎市の成人式実行委員を務めるなど、常に「大好きな長崎に恩返しをしたい」との想いで活動を続けています。今回はみどりの大使として長崎に戻ることができ、とても嬉しかったです!

街頭呼びかけでは、「頑張つてね」と多くの方に声をかけていただきました。長崎の豊かな自然を守る林業や「みどり」の取組を、私自身の言葉でさらに広く発信していきたいという思いがより一層強くなりました。

宮城県登米市

認証材が繋ぐあなたかみと循環

4月末には、FSC認証※に注力する宮城県登米市を訪問し、県庁の食堂取材しました。リニューアルされた食堂



2026

ミス日本みどりの大使

ながた まなみ
永田 愛実



には、厳格な認証をクリアした登米市産のケヤキやクリ等を使用したテーブルや椅子などが並んでおり、木材が日常の「食の場」に豊かな温もりを与えています。こうした身近な「心地よさ」の体感こそが、利用者と森を繋ぐのだと実感しました。

その翌日は登米小学校で「伐つて、使つて、植えて、育てる」というみどりの循環について授業を担当させていただきました。子供たちの真剣な眼差しに触れ、この循環を未来へ繋ぐ責任の重さを私自身も学びました。

※ 適切に管理されている森林の木材等を使用した製品であることを認証する国際的な制度。

全国植樹祭

5月17日に愛媛県で開催された「第76回全国植樹祭」においては、記録動画の案内役をさせていただきました。

海と山に囲まれた愛媛の皆さんの自然を愛する熱い想いを発信しています。その様子は、国土緑化推進機構のウェブページ内にある「チャンネル国土緑化」にて公開予定です。ぜひご覧ください。



愛実のつなぐ・届ける・森の声

「長崎のヒノキは海の向こうへ。 古くからの歴史を活かして、世界の架け橋になっている」

長崎県諫早市のNPO法人拓生会の吉田建規さんは、誇らしげにそう語ってくださいました。長崎の林業は日本国内向けの生産地であるに留まらず、古くから「海の玄関口」とであるという地の利を生かし、中国や韓国などへ木材を輸出する「交易の拠点」としての歴史を今も紡いでいます。海外でも、長崎のヒノキは非常に高い評価を受けているそうです。私はこれまで林業を「国内だけで完結するもの」と捉えがちでしたが、長崎の林業は海を渡って世界と繋がっているという事実、新鮮な衝撃を受けました。「今後は子供たちに、もっと森や木のことを知ってもらえる取組をしたい」と語る吉田さんの挑戦を、私も応援し、伝えていきたいです。



「チャンネル国土緑化」▶
<https://www.green.or.jp/channel/>



公益社団法人国土緑化推進機構ウェブサイト「みどりの大使」▶
<https://www.green.or.jp/promotion/midorino-taishi/>

